

議会報告会（H27.5開催分）に関するアンケート調査結果

■調査概要

【調査目的】

開かれた議会に向けた取り組みの一つとして、市民の率直な意見及び要望を把握し、今後の取り組みの参考にしていくことを目的に実施。

【調査対象】

議会報告会（H27.5開催分）の参加者

- ・9会場の延べ参加者：196人（受付簿記載者）
- ・アンケート協力者：159人（協力者率：81.1%）

日	地区	場 所	担当班	参加人数
5月7日	城北	玉水会館	2班	35人
5月11日	畑	みたけ会館	1班	19人
5月18日	味間	四季の森生涯学習センター西館	3班	13人
5月19日	雲部	雲部公民館	1班	26人
5月19日	古市	古市コミュニティ消防センター	2班	24人
5月19日	岡野	岡野文化会館	3班	15人
5月21日	城南	コミュニティセンター城南会館	1班	25人
5月26日	大芋	大芋公民館	2班	20人
6月2日	西紀北	しゃくなげ会館	3班	19人
合 計				196人

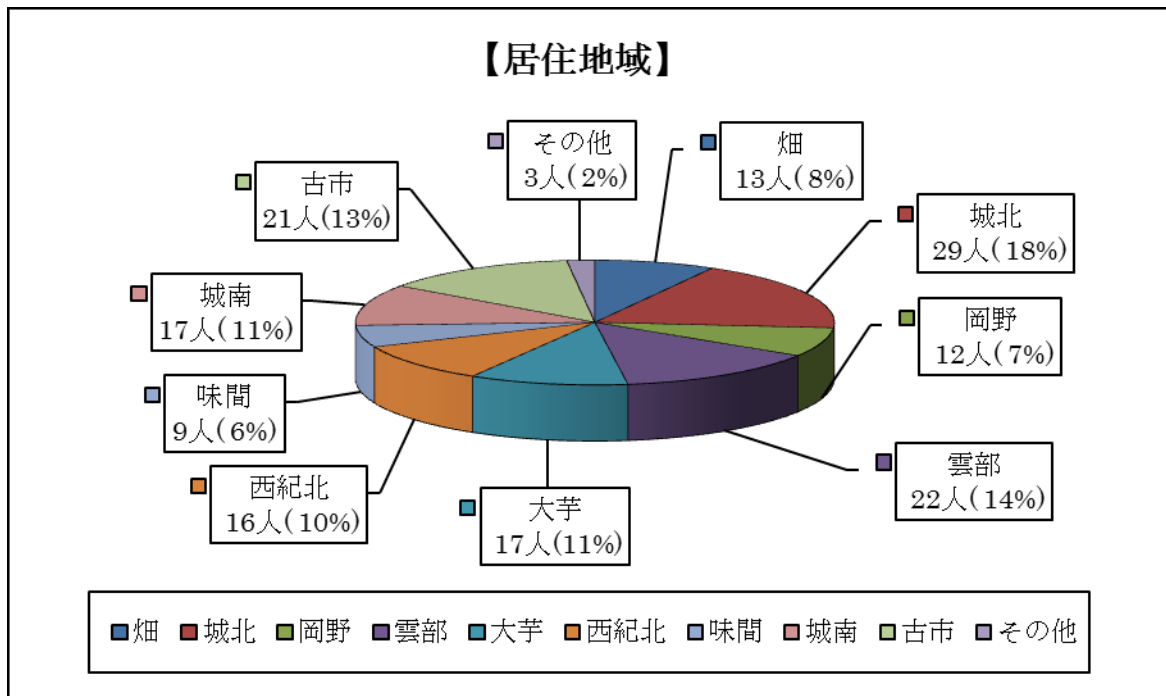
【調査項目】

1. 参加者の属性……………2～3頁
2. 取り組み（議会報告会）の評価……………4頁
3. 議会報告会情報の入手状況……………5頁
4. 自由記述……………6～7頁

1. 参加聴者の属性

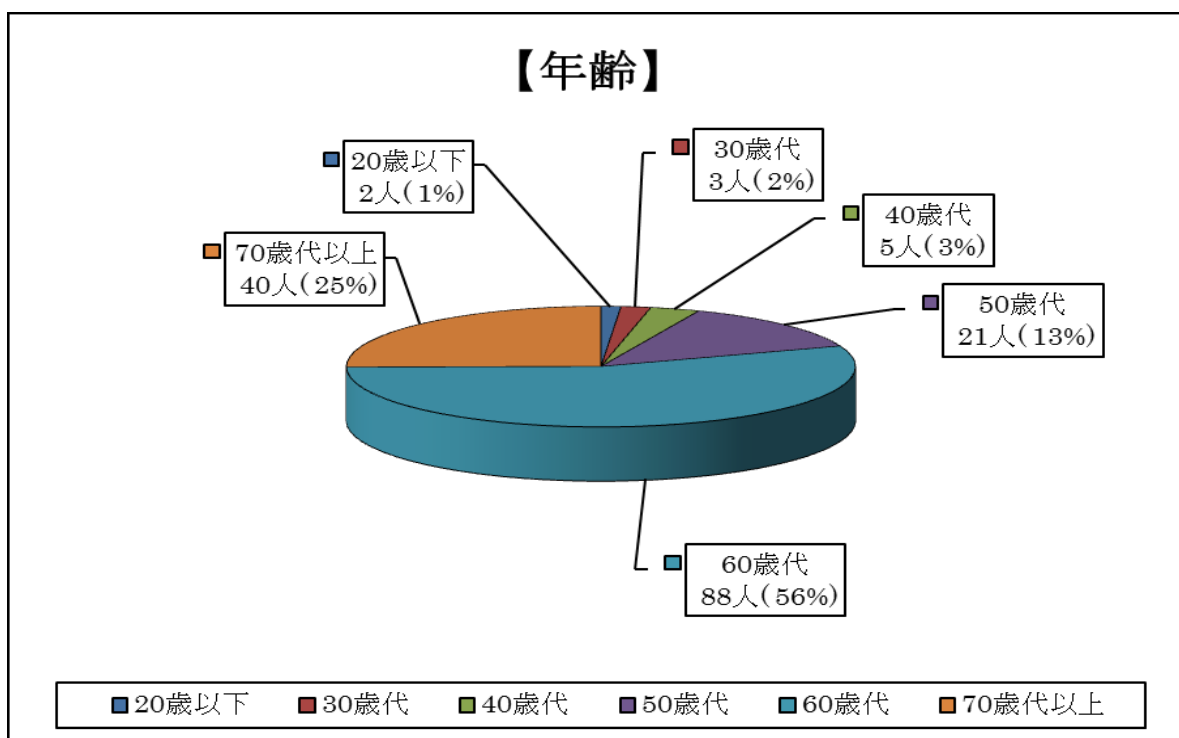
【居住地】

- ・基本的には開催地区の居住者が参加されている。



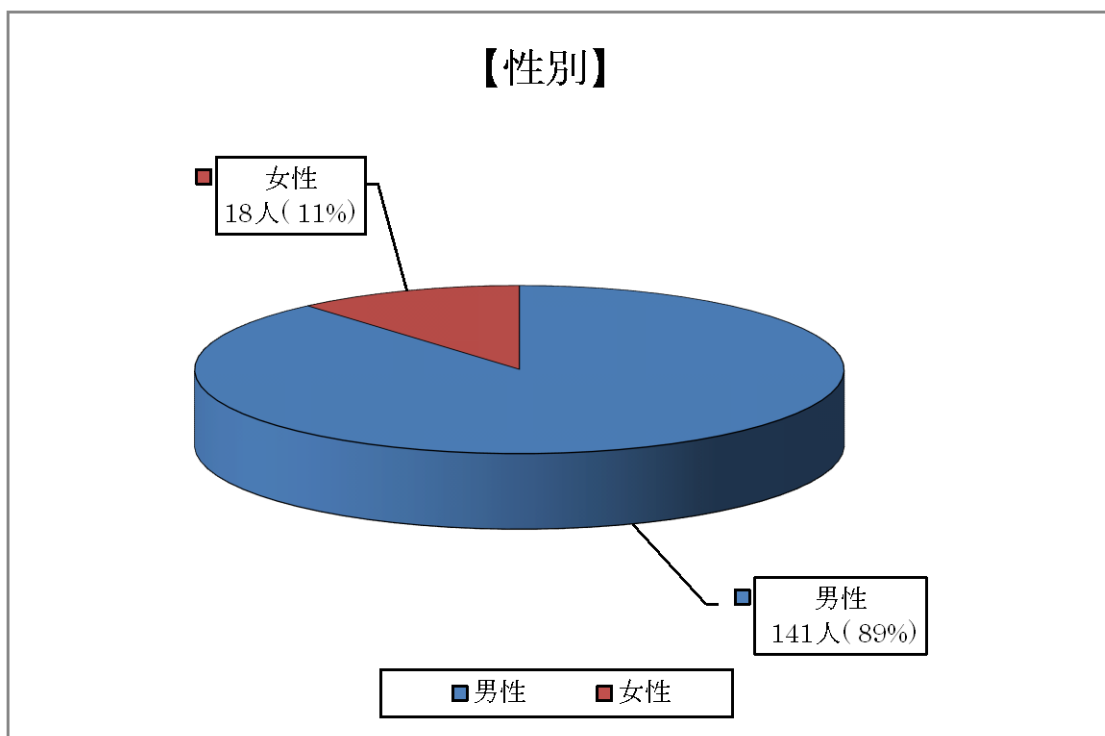
【年齢】

- ・60歳代が一番多く、50～70歳代以上が全体の94%（前回88%）を占めており、40代は5人、30歳代は3人、20歳代は2人である。



【性別】

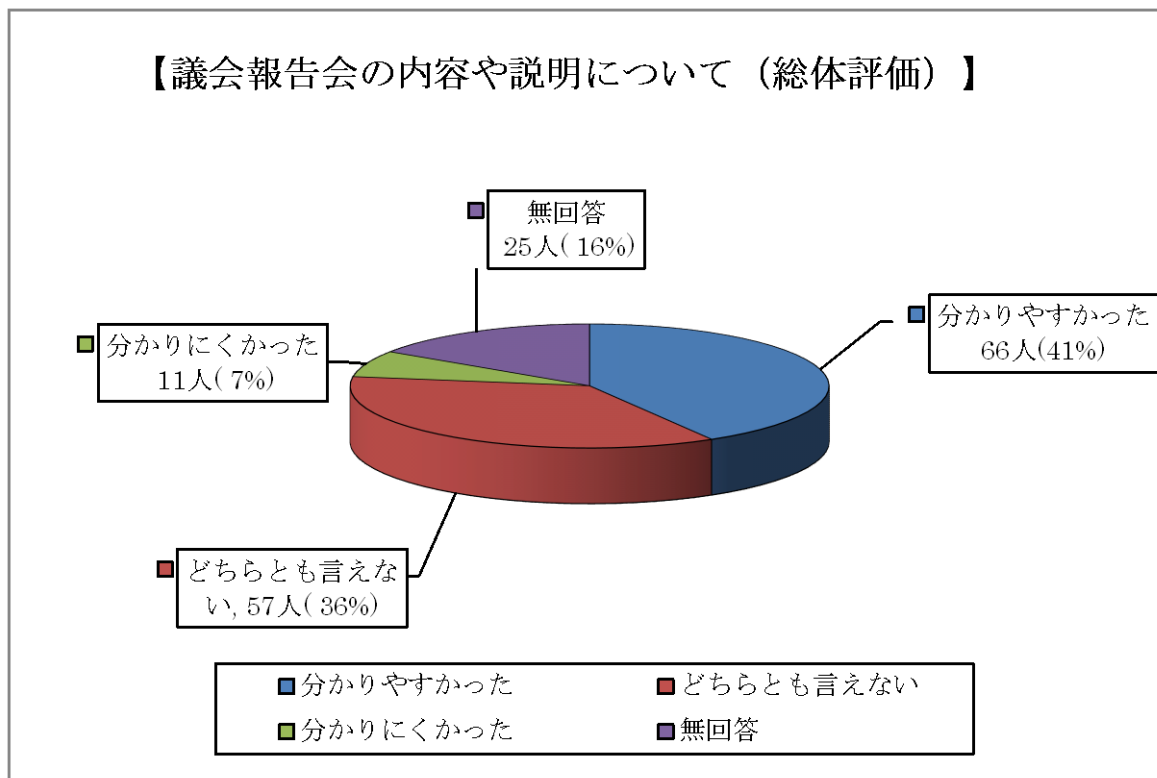
- ・「男性」が89%（前回94%）を占めている。



2. 取り組みの評価

【議会報告会の内容や説明に対する評価】

- ・「分かりやすかった」は41%（前回43%）に留まっている。「議員の活動内容の説明が詳しくされた。」「質問や意見に対して議員がしっかりと答えておられた。」等の評価の一方、「内容が多くて中身までの説明が不十分。」「難しい言葉がたくさん出た内容は分かりにくかった。」等の注文意見も挙がっている。



（理由 **要約・抜粋**）

<評価する>

- ・議員の活動内容の説明が詳しくされた。
- ・予算の説明がよかった。
- ・質問や意見に対して議員がしっかりと答えておられた。
- ・意見交換の内容が具体的で説明も分かりやすくてよかった。
- ・議論が多く出て良かった。

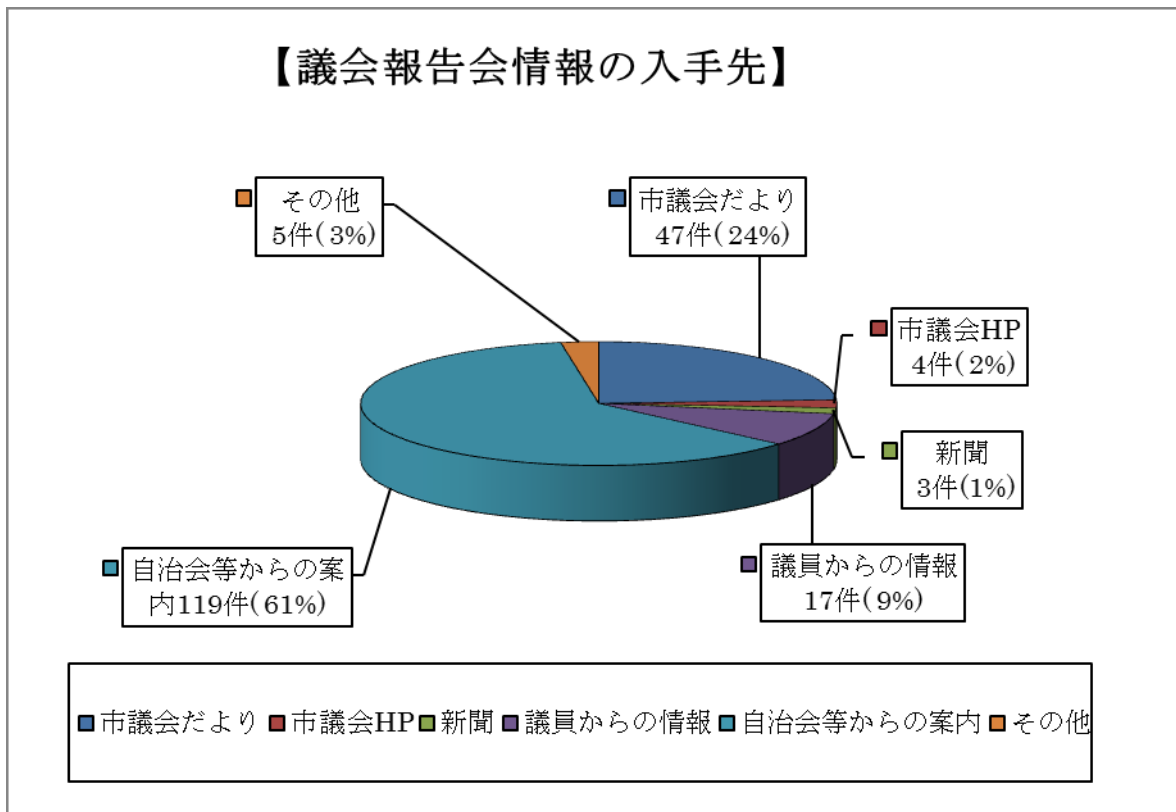
<どちらとも言えない、評価しない>

- ・内容が多くて中身までの説明が不十分。
- ・難しい言葉がたくさん出た内容は分かりにくかった。
- ・もう少し具体的に分かりやすく説明してほしい。
- ・説明が長いと思う。焦点を絞るべきでは。
- ・地元民の関心のある施策が少なく思えた。
- ・地域の特性を十二分に理解してから議員として責任ある発言を実施されたい。

3. 議会報告会情報の入手状況

【議会報告会情報の入手先（複数回答）】

- ・報告会の開催情報の入手については、「自治会等からの案内」が大部分を占めており、続いて「市議会だより」「議員からの情報」の順である。



4. 自由記述【ご意見・ご感想（要約・抜粋）】

【議会報告会について】

- ・報告会に出た意見、要望事項について、未回答や不十分な説明についてどのようにして還元してもらえるのか。言いつばなし、放置では報告会の意味が乏しい。（城北）
- ・初めて報告会に来させていただきましたが、みなさんがいろいろな事を考えられていたので大変勉強になりました。議員の皆様が真剣に取り組まれていることが分かりました。（城北）
- ・議会報告会での意見を行政に伝達する際に、議会としての意見を加えて伝達するようにしてください。（畑）
- ・報告会は有意義でした。（古市）
- ・該当する地域に対する重要案件をより詳細に説明してもらいたい。（古市）
- ・今回のような報告会は議会を知る機会になりよかったです。（城南）
- ・市民の意見を聞く場として、議会報告会は今後とも開催してほしい。良い機会であったと思います。（大芋）
- ・議会報告会に参加される議員の各位、多忙とは存じますが、事前に地域を巡回してこの地域では何が必要か、何が大切かを十分に確認して会議に出席されたい。（西紀北）
- ・各議員から北地区の活性化についての思いを聞きたかった。（西紀北）

【議会に対する要望等】

- ・更なる市政のチェックをお願いします。（城北）
- ・自分の意見が5年後10年後でも生きるようにしてほしい。自分の言ったことには責任を持ってもらいたい。（畑）
- ・市民生活にしっかりと目を向けて頑張ってもらいたい。議会としての考え方をしっかりと見極めてほしいと思う。（岡野）
- ・地域の課題や問題について気軽に相談に乗ってください。（岡野）
- ・住民との接点(自治会行事等)の参加を増やしていただけたらと思います。（古市）
- ・頑張っていることがよく分かりました。今後ともがんばってください。（雲部）
- ・篠山市は市長、議会の持ち物でない。しっかりとした未来像を持って議会活動を行ってほしい。（城南）
- ・議員がもっと地元へ入って苦情や問題点を拾ってほしい。（城南）
- ・できるだけ民意を反映して、行政に生かしていただければと思います。（大芋）

【市政に対する要望等】

(企業誘致、通勤について)

- ・定住促進に対する補助金等があるが、働く場所の確保が必要ではないか。(岡野)
- ・企業誘致により雇用が生まれており、一定の効果が表れていると思う。しかし、それが人口の増加と直結しているとは必ずしも思わない。人口減少が依然として続いている現実がある。(岡野)
- ・若い人の働く場所、企業等を誘致していただきたい。極端な話をすれば、原子力発電所(地理的に無理だが)、自衛隊、在日米軍、オスプレイの発着場所でもよいと思う。

(古市)

- ・企業を呼ぶというのは難しい問題でもあり、地域的に阪神間への通勤可能地域でもあるので、その面を考慮して考えていただけたらと思う。(古市)
- ・若者に仕事を。難しいでしょうが企業誘致をお願いします。(古市)

- ・産業発展に市の取り組みが必要です。人口増についても同様である。企業誘致補助努力が必要です。(城南)
- ・市内に、工場(会社)を他から来ていただき、若者が働ける場をもっと多く作る必要ではないか。益々人口が減ってきているが。(雲部)
- ・産業発展に市の取り組みが必要です。人口増についても同様である。企業誘致補助努力が必要です。(城南)
- ・勤め先などの事業者の数の増加が必要である。子供の教育も必要である。(大芋)
- ・無理かもしれませんが、会社をつくっての定住とかを思います。(大芋)
- ・企業誘致について、篠山に必要な産業、企業をもっと狙い撃ちして実施するべきだと思います。(畑)

(子育て、教育について)

- ・駅近くにマンションが沢山できているのでマンション等に住まわれている若い人たちが住みやすい、子供が育てやすい環境をつくったら定住につながるのではないかと。駅近くに歩いて(または自転車で)動ける遊べる公園や施設が少ないので家を建てるなら他市にとなるのかも知れません。子供が小学生になる前に定住するか決める人が多いと思います。(城北)
- ・2人目から段階的に祝い金を出す方がよいかと思えます。(味間)
- ・認定こども園への移行により幼稚園との二重となる。今後どうしていくのか、方向、道筋を示していく必要があるのではないかと。子育てを安心してできるまちづくりという考えは素晴らしいと思うが、子どもたちが安心して遊べる、親たちが安心して遊ばせる施設や場所等があまりにお粗末ではないか。(岡野)
- ・子育て年代に対する不安の解消、地域のコミュニティの充実。(古市)
- ・小学校区における預かり保育、学童保育について前向きに進めて頂きたい。(古市)

- ・人口の中心が味間地区に集中しています。他の地区は高齢化していく中に、子供中心の促進を行うことが必要と思います。（古市）
- ・北地域では今、北小の生徒数が年々少なくなっている中で、今の間に手を打たなければ学校が無くなるのが目に見えています。そうした中で、北地区協議会、里づくり協議会、PTAで考え行かなければならないと思っています。恒田議員にもお願いして進めていく準備をしているところであります。各議員様方にも協力を頂けたらと思っています。（西紀北）
- ・少子化対策には、教育が重要だと思います。優れた教育を行うところには人が集まると考えます。そして少人数学級のメリットを広く世間に訴えること。（西紀北）。
- ・少子高齢化に伴い、小学校等の統合等が検討されているが、子ども達を中央(市の中心地)に集めるのではなく、教育環境の良い地域(過疎地)を活用して地域活用を考える手が必要ではないか。子供と家族を転入させる計画も考えれば。（西紀北）

(同居について)

- ・市民一人一人が、自分の家族（子、孫）を地元に住ます、Uターンさせることができる魅力的な家庭、村をつくる必要がある。すなわち、現在の中高年層が満足した生活を送るのですが、年長が楽に生活できないと、成年や子供が定住できないと思います。（城北）
- ・基本は3世代が一緒に住むこと。孫の守りはおじいさん、おばあさんに頼むと生きがいもできるのではないかと？パパやママは就労に専念できる。（城北）
- ・観光客よりも篠山市に住んでいる市民が魅力を感じる篠山市にすることが重要。（畑）
- ・3軒が阪神間の人によって埋まりました。（畑）

(空き家対策について)

- ・空き家活用に力を入れて。（雲部）
- ・空き家や遊休農地をまとめて紹介できる場所が大事なのではないかと。（雲部）

(高齢化、後継者問題について)

- ・高齢化ゆえに少子化、その結果、若者の定住は少ない。これは全国的な傾向であるから仕方がないとはいうものの、もっと思い切った政策をするべきである。例えば、子育ての無料化、高齢者の有効活用、いずれにしても予算の新しい発想を求む。（城北）
- ・当集落も高齢化に伴い農地の放棄田が多くあり、今後、後継者もなく、いずれ放棄田により農地の荒廃がますます進むと思われます。（大芋）
- ・とにかく害獣の駆除をお願いしたい。このままでは耕作する農家がなくなってしまう。（古市）

(少子化・定住促進対策全般について)

- ・少子化の解消に向けての具体的な施策を早急に考えて動いてほしいと思います。(城北)
- ・学校(教育)、商店(買い物)、仕事(地元又は大阪(阪神)方面へ交通は便利になりました。電気、ガス、水道(下水)料金が割高である。昔から篠山に住んでいる人々と、移住者の間が埋まらない。(非常に閉鎖的な土地柄です)。伊丹より移住してきましたが感想です。(城北)
- ・危機意識を持って本腰を入れてやってもらいたい。篠山定住のメリット、市、議会としての支援状況について、目に見える形で周知してもらいたい。(城北)
- ・篠山市税等の納税額の検討、他市に負けない行政、特徴あるまちづくり。(城北)
- ・人口関連の施策に欠けていると感じている点に、時間軸、具体的な数値があります。2050年に若年女性人口半減と言われていますが、各地区でどうなのか。2050年の意味は何なのか。少し掘り下げて議論が必要だと思います。(畑)
- ・篠山市全体で進められているが、地域ごとに考慮すると篠山市内でも大きな格差がある。(畑)
- ・定住の促進というが、高い水道代、市民税や固定資産税など考え直してみる必要ありと思うがどうか。(岡野)
- ・子育てに関する支援のさらなる充実、働く場所の確保(企業誘致の更なる促進)、スポーツ、文化、景観、宅地、工業団地、商業地、観光、文化財、教育等のバランスのとれたゾーン開発。(岡野)
- ・集落営農に補助金はないのか。(雲部)
- ・篠山市に住みたいと思う何かを作っていく、何かは市民にアンケートを取る。(大芋)
- ・定住の促進について、地理的遠方、あるいは、入りにくい地域の説明をインターネットや広報に取り上げ(今まで以上の効果が上がるよう)期待します。(大芋)
- ・水道料金の値段(高いので…ほかに比べたら)いろんな条件が左右するとは考えられるが…。(西紀北)

(その他市政に対する意見、要望)

- ・必要なことと無駄なことを見極めて、できるだけ多くの人たちが平凡でも幸せに暮らせる街になればよい。(城北)
- ・市の職員の意見を聞く場を設けたら、篠山市の本当の取り組んでいる姿が分かります。(畑)